

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—32532

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 60 Q 9/00  
G 01 D 7/00  
G 01 P 1/07

識別記号

庁内整理番号  
7913—3K  
6470—2F  
7027—2F

⑭ 公開 昭和59年(1984)2月22日

発明の数 1  
審査請求 有

(全 3 頁)

⑥ 二輪車の表示装置

調布市若葉町 1—21—3

① 特 願 昭57—141530

⑦ 出 願 人 本田技研工業株式会社

② 出 願 昭57(1982)8月13日

東京都渋谷区神宮前 6 丁目27番  
8 号

③ 発 明 者 小室克介

⑧ 代 理 人 弁理士 藤村元彦

明 細 書

1. 発明の名称

二輪車の表示装置

2. 特許請求の範囲

板状素子からなる表示部と、前記表示部と分離して設けられて前記表示部を制御する制御部とを備え、前記表示部を車体前部の上方部に起立して設けたことを特徴とする二輪車の表示装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明はスピード、エンジン回転数等を表示するための二輪車の表示装置に関する。

従来この種の装置としては、各々独立してハンドル中央部前方に配置されたスピードメータ、回転数メータ等が一般的に知られている。ところが、これらメータは表示部と制御部とが一体的に構成されて比較的大型でかつ高重量であったため、ハンドル中央部前方の構造の簡易化の妨げとなっていたと共に、その取付位置も制限されていた。

本発明は上記した点に鑑みなされたもので、軽

量簡易構造の二輪車の表示装置を提供することを目的とする。

この目的を達成するために、本発明による二輪車の表示装置では、表示部を板状素子により構成し、この表示部と制御部とを分離すると共に、表示部を車体前部の上方部に起立して設けている。

以下、図面を用いて本発明の実施例を説明する。

第1図は本発明の一実施例を示す斜視図、第2図は第1図の一部断面を含む側面図である。図において、ヘッドパイプ1と一對のフロントフォーク2、2はトップブリッジ3及びロワーブリッジ4によって連結され、トップブリッジ3にはハンドル5が取り付けられ、さらにフロントフォーク2、2にはヘッドライト6及び左右のウインランプ7a、7bが取り付けられている。トップブリッジ3の上方にはハンドルカバー8が設けられている。

ハンドルカバー8には板状素子からなる表示部9がハンドル5の前方に位置しかつ起立するように設けられ、さらにコンビネーションスイッチ1

0、各種スイッチ11及び各種警告ランプ12が配設されている。表示部9はその下端部がシール部材13を介してハンドルカバー8に取り付けられ、さらに下端には電極14が固着されており、スピード、エンジン、回転数、燃料残量等を表示し得る構成となつている。ハンドルカバー8内には表示部9を制御するための制御部15が表示部9と分離されて設けられており、この制御部15はリード線16を介して表示部9と接続されている。

表示部9を構成する板状素子としては、例えば液晶をプラスチック等の可撓性透明プレートに封入してなるプラスチックフィルム液晶表示装置を用い得る。この液晶表示装置の基本形を第3図に示す。第3図において、液晶30が粘着材31を介して互いに結合した一対のポリエステルフィルム32、32間に封入されており、液晶30と一対のポリエステルフィルム32、32の間には透明電極33及び導電体34が介在すると共に、一対のポリエステルフィルム32、32の外面には

偏光子35、35が固着された構成となっている。かかる構成のプラスチックフィルム液晶表示装置は従来一般的に用いられていたガラス液晶表示装置と異なり可撓性を有している。

なお、上記実施例においては、表示部9を単体で設けた構成としたが、第2図に二点鎖線で示す様に、表示部9にカバー部材17を取り付けても良く、これによれば特に車輛走行時における走行風圧等が直接表示部9に当たらないため表示部9が保護され、表示部9の長寿命化が可能となる。

以上のように、本発明によれば、表示部を板状素子により構成し、この表示部と制御部とを分離すると共に、表示部を車体前部の上方部に起立して設けたので、液晶表示装置等の板状素子の特質である薄さ、軽さが有効に作用し、ハンドル中央部前方の構造の簡易化、軽量化が可能となる。また、軽量であるが故に表示面の高さ位置を従来のものよりも高くできるため、運転中の視線位置から表示面視認のための視線移動量が少なくなり、視認性をより向上できるという効果もある。

#### 4. 図面の簡単な説明

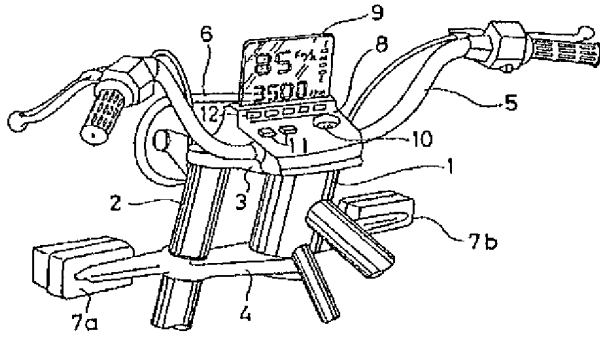
第1図は本発明の一実施例を示す斜視図、第2図は第1図の一部断面を含む側面図、第3図はプラスチックフィルム液晶表示装置の基本形を示す断面図である。

#### 主要部分の符号の説明

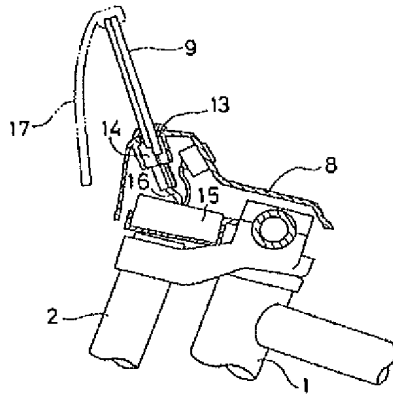
- 1 ……ヘッドパイプ
- 2 ……フロントフォーク
- 3 ……トップブリッジ
- 5 ……ハンドル
- 8 ……ハンドルカバー
- 9 ……表示部
- 13 ……シール部材
- 15 ……制御部      30 ……液晶
- 32 ……ポリエステルフィルム

出願人      本田技研工業株式会社  
代理人      弁理士      藤村元彦

第 1 図



第 2 図



第 3 図

